

公共・商業建築分野

戦略

快適ソリューションを実現する企業として、
公共空間の快適性向上に寄与する

住宅用建材メーカーとして培ってきた安全性・耐久性・不燃性・快適な音環境の提供など、当社独自の技術やノウハウを活かし、公共・商業建築分野の各施設に求められる機能を付与した製品シリーズによる空間提案を進めています。

事業×市場の成長戦略



「事業を通じた価値創造」に向けた取り組み

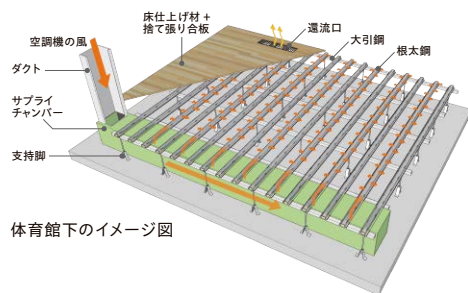
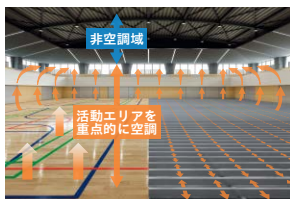
事業を通じた価値創造
公共・商業建築分野の課題解決



非常時でも快適にすごせる施設の整備

床下に風を送り、床を冷やしたり温めたりすることで空間全体をムラなく快適に空調する冷暖房システム『ユカリラ』は、保育園や高齢者施設、マンション、体育館など幅広い施設に導入可能な全空気式床輻射冷暖房システムです。2024年4月には空調設備工事会社の（株）清田工業を子会社にしたことで製品ラインアップの拡充や床工事の受注に留まらず、空調の設計・工事までを含めたトータルでの材工提案が可能となりました。施設内の活動エリアを重点的に空調できる設計は、熱中症対策や災害時の避難所に活用できるため、今後は体育館の空調改善を中心とした採用活動に取り組んでいきます。

ユカリラ



Voice of Employee

当社は首都圏における公共・商業建築分野での提案力強化および受注拡大を目的に、2025年4月にパブリック営業部を新設しました。私は営業1課の課長としてその立ち上げに携わっています。パブリック営業部では、ハウスメーカーの非住宅部門やゼネコン、工事店、設計事務所といった多様な取引先に対し、横断的な営業活動を展開しています。特に建具・家具工事などを材工一体で求められる案件が多く、パートナー工事店との連携や関係構築が喫緊の課題となっています。そうした中、グループ内のリソースを積極的に活用し、スマイルアップ（防音対策）、三恵（床工事）、清田工業（ユカリラ）など、材工一括対応を強化することにより受注獲得につなげてきました。

公共・商業建築分野では案件ごとに関係者が異なるため、課題の特定や良好な関係性を維持することが非常に難しいと感じる場面が多々あります。だからこそ長期的な視点で人と人とのつながりを築き、継続的にお声がけいただけるような信頼関係を構築することが、何よりも重要だと考えています。今後もDAIKENグループの総合力を活かし、事業主・設計事務所・工事店といった新たなパートナーとの関係を広げながら、積極的に市場を切り拓いていきたい所存です。

パブリック営業部
営業1課 課長
高橋 秀幸



開発営業部は公共・商業建築分野への展開に特化し、カタログ製品に加え相対製品や造作家具の企画提案を行っています。私自身もお客様や現場の課題に耳を傾け、問題解決に加えて「プラスα」の価値を提案することや、スピード感を持って対応することを常に意識しています。たとえば、教育施設を運営する企業様から造作家具の相談を受けた際、可動式ロッカーの前で園児が昼寝をしているという実態を知ったことから、低重心構造で安定性が高く災害時のリスクを低減した仕様を提案し、採用につながりました。自身の「子を持つ親としての視点」を活かすことができた好事例です。一方で、納品後に製造工程での不具合が発覚しご迷惑をおかけしたのですが、製造部門と連携し誠実に対応することで信頼回復に努めました。品質管理の重要性を再認識するとともに、日頃からの社内でのコミュニ

ケーションの重要性を痛感した出来事でした。開発営業部は部内で商品開発できることや社外品をアッセンブルできることが最大の強みです。既存の自社製品を販売するだけでなく、お客様のニーズに合わせた幅広い対応が可能であり、非常にやりがいのある仕事だと感じています。今後も部内の連携を強化し、「三方よし」の考え方のもと、新たな市場開拓と価値創出に挑戦していきます。

開発営業部
営業課
萩原 洋和



Voice of Executive

これまで当社は公共・商業建築分野において、高齢者施設、文教施設、医療施設、商業施設を中心に事業展開を進めてきました。2025年度はこれらの既存施設に加え、これまで以上に攻略視野を広げることで潜在的な市場への挑戦を本格化させていきます。その一環として今期新設したパブリック営業部では、首都圏を起点に公共・商業建築物件へのアプローチを開始。将来的に全国規模で当社の製品を普及させることを目的としています。現場の声を反映した製品を通じて「本当に必要なとされる価値」を提供していくことが、当社の使命であると考えています。公共・商業建築分野では、オフィスの音環境改善、職人不足に伴う省施工製品需要、持続可能な社会の実現に貢献

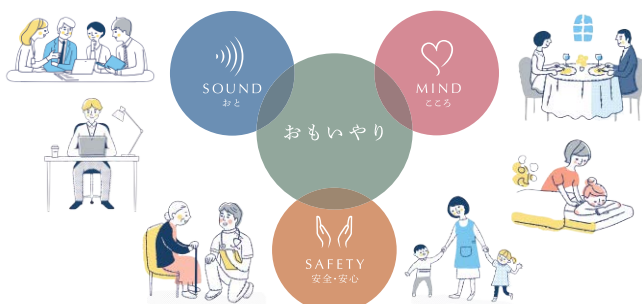
するサステナブル製品開発、地域林業活性化のための県産材活用、空間価値を高める温熱環境対策など、多岐に渡る課題が存在しています。これらを事業拡大の機会と捉え、多角的なアプローチにより当社の強みを発揮しつつ、お客様との共創というシナジーを最大限に活かし、社会課題の解決と質の高い空間づくりに貢献していきます。

執行職
特需営業統轄部長
木下 司



公共・商業建築分野

すべての公共・商業施設へ「おもいやり」を



「おもいやり」は、施設を訪れる人やそこで働く人それぞれの「こころい」を大切に、空間づくりのコンセプトです。「おと」「こころ」「安全・安心」へのおもいやりを軸に、音環境への配慮と心身の安全・安心を両立。遮音・吸音性能により快適な会話や集中しやすい空間を実現するとともに、高齢者施設では転倒時の衝撃軽減や清掃性にも配慮し、誰もがいつでも・どこでも快適にすごせる空間の実現に貢献します。

快適な施設づくりに「3つの視点」でアプローチ

「おと」に関するお悩みを、遮音&吸音性能ですっきり解消

オフィスや店舗、医療施設などでの音に関する課題に対し、音環境改善を主軸とした空間価値向上に取り組んでいます。計画中の案件に対しても「音環境のコンサルティング」というコト提案を展開し、設計・企画・コンサルティングから、製品開発・調達・製造・材工受注まで、一気通貫で対応できる体制を構築しています。



「こころやすらぐ」空間づくりを木質感とこだわりの意匠で

当社は創立当時から木材と向き合い、強みを熟知しています。木質空間のリラックス効果、湿気を吸収・放出する働きによる調湿作用などの特長を最大限に活かした、快適な空間づくりを提案します。



機能への細やかな配慮で「安全・安心」を効率よく実現

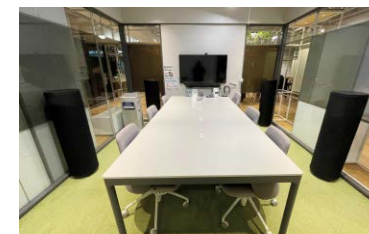
超高齢社会を迎え介護に関する問題が大きくなるなかで、年齢を重ねても安心して暮らせる生活空間が求められています。これまでに培ってきた快適な住空間の発想や技術を活かし、利用者のニーズにきめ細やかに対応できる製品を整えています。



快適な空間づくりへの貢献

『サウンドトロン』の設置により、会議室内の音の響き(残響時間)を改善

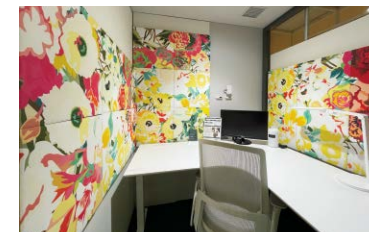
当社が参画するコワーキングスペースである「point 0 marunouchi」では、会議室の壁がガラスの内装仕上げ材であるため、明るく開放的である一方、話し声が響いてしまい聞き取りにくいという課題がありました。現状の会議室内の残響時間を測定・シミュレーションで把握するとともに、最適な音環境にするための吸音材『サウンドトロン』の数量を算出・導入し、会議室内の音の残響時間を改善させることができました。



吸音材『サウンドトロン』を設置した会議室

文化・地域性を取り入れたデザインパネルの設置

「point 0 marunouchi」では、優れた吸音性能はそのままに、製品表面にオリジナルデザインがプリントできる『OFF TONE マグネットパネル Nインクジェット特注対応』を採用しています。「point 0 marunouchi」の個性を表現したアートや、point 0 に参画する企業にゆかりのある土地の自然の風景を吸音パネルとし、視覚的な意匠性の向上と音環境の改善を両立しました。



ワークスペースに設置した『OFF TONE マグネットパネル N インクジェット特注対応』

シェアオフィスの内装木質化による効果検証と音環境改善効果の実証

働き方改革の一環として業務効率化や生産性の向上が求められるなかで、働く空間の快適性は非常に重要です。木質空間にはリラックスやストレス軽減などの効果があることが報告されており、オフィスの快適性向上に寄与する可能性を秘めています。当社は東京大学およびセイコーエプソン(株)と共創し、オフィスの個室空間を木質化した際の心理的・身体的な影響を検証しました。その結果、非木質化空間と比べて生産性の向上や心理的な快適性向上に加え、脳血流の改善や疲労感の軽減といった身体的な好影響が示されています。さらに、この効果検証をもとに別途行った取り組みでは、木材を活用した音響調整パネルを用い、木質化による印象向上と音環境改善の効果について検証し、視覚的印象と音環境の印象向上の効果を確認しました。この商品は「JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2023」を受賞しました。



木製の音響調整パネルを設置した個室

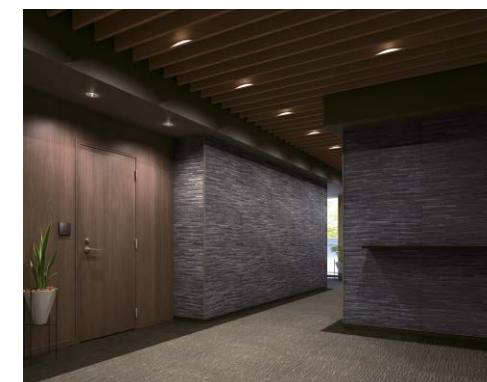


『OMOIYARIシリーズ』へとアップデート

2025.6 公共・商業施設用 室内ドアは、『OMOIYARIシリーズ』へ



「音」や「安全・安心」に配慮した機能・性能に加え、「こころやすらぐ」木質感を兼ね備えた公共・商業施設向け室内ドアシリーズは、施設を利用するすべての人の「こころよさ」を目指し、2025年6月より『OMOIYARIシリーズ』へアップデートされました。オフィス・商業施設から高齢者・医療施設まで、誰もが快適にすごせる空間づくりをサポートします。



『OMOIYARIドア』片開きドアインセットタイプ AXデザイン(ダークブラウン柄)(オプション:電気錠対応)